

この説明書は、一般社団法人 検査医学標準物質機構 (ReCCS) が、IRMMの認証書の要点をサービスとしてまとめたものです(禁複製)。使用にあたっては、必ずIRMMの英文認証書に従ってください。  
**この説明書は都度変更される事がありますので、必ず最新のものをご使用下さい。**

## IRMM ERM-DA471/IFCC (血清シスタチンC)

本標準品は、免疫法によるシスタチンCの定量用の血清ベース標準液及びコントロール物質の校正に使用する事を主な目的としている。本標準品を特定の測定系の校正物質として用いる場合は、実検体とのコミュニティが確かめられた測定系でなければならない。

	認証値 (mg/L)	拡張不確かさ (mg/L)
シスタチンC	<b>5.48</b>	<b>0.15</b>

- 1) 上記シスタチンC濃度は、PENIA<sup>\*1</sup>, PETIA<sup>\*2</sup>, およびSRID<sup>\*3</sup>によって測定したものである。  
\*1:particle enhanced immuno-nephelometry \*2:particle enhanced immuno-turbidimetry \*3:single radial immuno-diffusion
- 2) 拡張不確かさはGUMに従い包括係数 $k=2$ として95%信頼水準で表した。
- 3) DA471/IFCCはシスタチンCを添加したヒ血清凍結乾燥品で、HEPES、アジ化ナトリウム、ベンズアミジソクロライド、7β-チンを含み、窒素充填してある。

### 【使用方法】

- ①本品は、使用前日の午後にフリーザーから取り出し、温度管理された天秤のある部屋に1時間置く。
- ②1時間後に実験台上面でバールの底をゆるく叩き、全内容物を底に落としスクェアキャップを外す。
- ③ゴム栓をつけた状態でバールの重量を測定し記録する。
- ④次にゴム栓の溝から空気が入るように、注意してゴム栓を持ち上げる。
- ⑤本品1バールに水1.00mlを加え（溝に付着物がある場合は洗い流すように加え）、ゴム栓を元の状態に戻し重量を測定する。③で測定した重量を差し引き、加えた水の重さを求める。
- ⑥この溶液中のシスタチンC濃度は、認証値に1.000(g)/加えた水の量(g)を掛ける事によって得る事ができる。
- ⑦室温で1時間放置後、少なくとも5回注意深く転倒混和する(決して振らない事)。
- ⑧室温で1晩放置後、使用する1時間以内に5回転倒混和する。
- ⑨最低2μLのサンプル量を用いて測定する事。

### 【使用上又は取扱い上の注意】

1. 本品はHBs抗原、HCV抗体、HIV1/HIV2抗体は検出されなかったが、感染症を完全に否定できないので充分注意して取り扱う事。
2. 本品は*in vitro*でのみ使用する。
3. 本品は、保存剤としてアジ化ナトリウムを含有し、毒物及び劇物取締法における毒物に指定されている。誤って飲み込んだり皮膚や粘膜に触れないようにする事。付着した場合は多量の水で洗い流す事。また、アジ化ナトリウムは金属と反応して爆発性の金属アジドを生成する事があるので、廃棄の際には廃液をゆっくりと大量の水で洗い流す事。

### 【貯法・有効期限】

- ・未開封の状態での-20℃以下で保存する。
- ・開封したものの安定性は保証しない。
- ・有効期限：購入後1年間

以上

輸入元・発売元

一般社団法人 検査医学標準物質機構

〒225-0012 神奈川県横浜市青葉区あざみ野南1-3-3

【注文・一般】TEL：045-530-9107 FAX:045-530-9036

【技術内容】TEL：045-530-9109 FAX:045-530-9036

標準物質について詳しくは当機構ホームページをご覧ください。

<http://www.reccs.or.jp/>